

令和5年1月23日

正和会視察報告

報告者 小林 貢

実施日:令和5年1月23日(月)午後

場 所:福生市福生 1290 番地 旧第二学校給食センター

参加者:石川義郎、山崎貴裕、小林貢、小澤芳輝、佐藤弘治、清水義朋、幡垣正生、
武藤政義、串田金八(議席番号順)

目 的:災害時の避難所等で使用される、防災備品備蓄倉庫の所在や内容を確認し、今後の防災対応に資する。

概 要:①近年、全国各地で大規模な災害が発生し、かつ市民から求められる災害対応も多様化するなか、新型コロナウイルス感染症の拡大により、避難所における新たな感染症対策が急務となっている。

このような、情勢に鑑み、特に避難所の感染症対策に資する新たな防災備品(簡易間仕切り、段ボールベッドなど)を確保するため、これらを収納できる保管場所の確保から、未利用施設となっていた旧第二学校給食センターを再利用し、備蓄倉庫として活用することとなったものである。

②保管施設面積等

- ・建物面積:528 m²(160 坪)
- ・構造:鉄筋コンクリート造
- ・残耐用年数:概ね 20 年
- ・耐震性:あり

③共用開始日

令和 2 年 11 月 20 日

④改修工事費等

21, 991, 695円

⑤主な収納物品(令和 5 年 1 月末現在)

防護服 1,470 枚、N95 マスク 4,580 枚、医療用マスク 2,750 枚、不織布マスク 175,000 枚(大人用 170,000 枚、子ども用 5,000 枚)、フェイスシールド 3,350 個、アルコール消毒液 68ℓ、使い捨て手袋 111,000 枚、段ボールベッド



1,630 台、簡易間仕切り 830 張、カラーユニットマット 320 枚、災害備蓄用パン 2,400 食、サバイバルフーズ 10,800 食、真空パックタオル 600 枚、生理用品 14,700 個、紙おむつ 7,040 枚(大人用 2,900 枚、子ども用 4,140 枚)

⑥収納物品金額

総額:4,500万円

内訳:段ボールベッド 1,372 万円、簡易間仕切り 2,000 万円、
他 1,128 万円

所 感:平成 29 年 9 月に福生市熊川 1606 番地1に福生市防災食育センター(学校給食センター)が新たに供用されたことにより、第二学校給食センターは未利用施設となっていました。

令和元年 12 月に確認された、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、避難所等での、市民等を感染症から守る対策として、様々な物品を確保する必要が生じ、確保と共に、その保管場所として、未利用施設となっていました、当第二学校給食センターを活用し、災害時の備蓄倉庫として再利用されていることは、未利用施設の有効活用として、好ましい形です。

今後の、備蓄倉庫や収納物品の管理が重要となってくるが、建物の漏水や湿気、動植物の進入被害の防止等については、定期的な点検等により、良好に収納物品の管理を行い、災害時には迅速な必要物品の活用が出来るよう取組んで行く必要があります。

今後も、市民が安心できる、防災体制についての確認や取組を行ってまいります。

